

SxS Device Driver Ver 3.1.0 Windows 版（2022/3/22 リリース）の【動作環境】を更新しました。

【Ver3.1.0 で追加された項目】

- ・Windows11 対応

【動作環境】

この SxS Device Driver Ver. 3.1.0 は下記の環境で動作確認済です。

対応 OS

Windows 10 64bit [22H2](#)

Windows 11 64bit [24H2](#)

Memory

4 GB 以上

HDD の空き容量

500 MB 以上

ご注意： この動作環境は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

【SxS Device Driver のインストール方法】

- ・新規インストールでない場合、必ず、Windows の「プログラムと機能」または「アプリと機能」より、旧バージョンをアンインストールして下さい。
- ・SxSDeviceDriver_3_1_0_win.zip を解凍して、SxSDeviceDriver_3_1_0_win.exe を実行してください。順次表示されるインストーラーの指示に従って操作すると、SxS Device Driver がインストールされます。設定情報を確実に反映するため、インストール後、OS の再起動をお願いします。

【使用上のご注意】

- ・Memory Media Utility や UDF フォーマットされたメモリーカードを使う場合、Memory Media Utility V4.7.0 や SxS UDF Driver V2.6.0 をインストールする必要があります。弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。
<https://www.sony.jp/xdcam/download/>
- ・マシン環境の設定
 - ・ドライブの正常動作の妨げになる可能性がありますので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。Windows の場合、コントロールパネルで電源オプション>プラン設定の変更>詳細な電源設定の変更を開き、下記項目で変更します（なお、コントロールパネルの表示方法をアイコンにした場合です。表示方法をカテゴリにすると階層が深くなります）。
 - ・[スリープ]-[次の時間経過後スリープする]・・・「なし」
 - ・[USB]-[USB 設定]-[USB のセレクトティブサスペンドの設定]・・・「無効」

なお、Thunderbolt の省電力モードについては、OS 起動前の UEFI BIOS 内で変更可能です。なお、PC の適切な BIOS 設定については、各 PC メーカーにお問い合わせください。HP 社製 Elitebook の場合、UEFI BIOS 内 Advanced > Port Options > Thunderbolt PCIe Hot plug Mode を “Native + Lower Power mode” に設定し、Main 内の Save and Exit で確定させることで変更できます。

以下のようなストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にするか、その管理対象から除外することで改善する場合があります。

例) 常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス、RAID 管理ソフトウェアなど

- ・ OS の起動条件によっては、本製品ではなく、OS 標準ドライバが適用されてしまう場合があります。

Memory Media Utility で SBAC-T40 などの SxS Reader/Writer が認識できなくなったり、SxS メモリーのデータ転送速度が明らかに遅くなる場合があります。

この場合は、一旦、SxS Reader/Writer を PC から外して、OS を再起動してください。
